

	子どもの声・姿・意識	活動の展開	教師の関わり(手立て)	単元の評価規準 ○知識・技能◎思考・判断・表現●主体的に学習に取り組む態度 <キャリア・未来デザイン教育の視点> [探究的な学びの視点]
一学期	「なにができる？」(7)			○自分たちと社会との関わりや地域に出かけることを通して、地域にはすてきな場所があり、そこにはすてきな人がいることを知り、そのよさを理解している。 <③課題対応能力> [①課題を見出し、把握している]
	<ul style="list-style-type: none"> 協力できた！保護者に感謝してもらえた！積極的に動くことができた！作ったものを実現できた！ 最後までできなかった。目標にたどりつけなかった。もっと広めたかった。相手のことを考えられなかった。 家族に感謝を伝えたい！・伝統を生かしたい！・関わる人を明るくしたい！子どもだけでやりたい！・環境をよくしたい！米の活動を続けたい・学校や地域のみんなを呼びたい 茶室でどんなことができるんだろう？・なにがあると喜んでくれるかなあ。・材料は何が必要だろう？・作る専門家にコツを教えてくださいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度の振り返りをする。 ○「社会とわたし」というテーマを考える。 ・誰か知らない大人がやっていること・下級生に対して学校のリーダーとして関わっている・保護者との関係もそのひとつ・友達と遊ぶことなど ○私たちに何ができるかを考える(目標の設定)。 ○私たちにできることをもとに、材(屋上庭園)を使ってやってみたいことについて考える。 ○調べたことをまとめ、テーマを見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より具体的に思い出せるように、元のクラスで分かれて昨年度の学習で生かしたい点と課題点を挙げるようにする。 ・共に楽しむ仲間の一人であることを念頭に、児童と同じ目線で取り組み続ける。 	◎茶室作りについて、仲間と協力して話し合いながら意思決定することができる。また、行動して気が付いたことをもとに、次の活動を具体化するための振り返りや話し合いをしている。 <①人間関係形成・社会形成能力> <③課題対応能力> <④キャリアプランニング能力> [②課題解決の方法を考えている] [③協働して学んでいる] [④学びを振り返り、次につなげている]
二学期	「やりたいことをやってみよう！」(27)			○桜町 Fes で発表することを通して、相手や目的に応じた話し方を理解し、自分の思いを伝えている。 <①人間関係形成・社会形成能力> [②課題解決の方法を考えている] [③協働して学んでいる]
	<ul style="list-style-type: none"> ●関わる全ての人を明るくしたい！ ●地域の力を活用しながら自分たちの力でやってみよう！ ・茶室を作りたい！ ・お茶の淹れ方を学んで野点をしたい！ ・組み立て式の茶室を作りたい！ ・お茶に合う米料理を作りたい！ ・屋上を綺麗にしたい！ ・屋上に花を植えたい！ ・みんなの活動を支えられるよう、活動に関わる物品の管理をしたい！ ・私たちの活動をみんなに知ってほしい！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・茶室の作り方(材料・設計・道具など)を調べて制作する。 ・お茶に合う米料理(おにぎり・だんごなど)を考えて作る。 ・屋上を綺麗にして花を植える。 ・屋上庭園でできるイベントを企画する。 ・ポスター・動画・マスコットキャラクター等で広報活動する。 ・活動に関わる物品を確認し、調達する。 ・活動に関わる予算を考える。 ・活動全体を調整する。 ・毎回の活動で必要なこと(準備物・予定・お願い)を全体に周知する。 ・毎回の活動を記録し、一年間のあゆみに残していく。 <div data-bbox="786 1155 2062 1249" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>各教科との結びつき 国語: 日本文化の魅力・社会: 室町文化・算数: 拡大図と縮図・理科: 植物の成長・道徳: 随時・家庭科: お茶の淹れ方・米の扱い</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な情報を整理するために、出し合った情報から何を重視するか共に考える。 ・必要になるであろうひと・こと・ものに関して事前に情報を収集する。 ・成長を実感できるよう、活動の記録を取る。 ・それぞれの活動や全体での活動報告の際に獲得できた力を価値付ける。 	●茶室を作り、よりよく改善するために気が付いたことをもとに、自分が得意なことを生かして関わる活動をしている。 <②自己理解・自己管理能力> [②課題解決の方法を考えている]
三学期	「残せるものを考えよう！」(18)			●自分のやりたいことを決めて、活動の中で友達と役割を分担したり、自他の考えのよさを生かしたりしながら、やりたいことに没頭している。 <①人間関係形成・社会形成能力> <②自己理解・自己管理能力> [②課題解決の方法を考えている] [③協働して学んでいる]
	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに関わってくれたみんなに感謝を伝えたい。 ・みんなを呼んで一緒に楽しみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発信方法、発信内容を考える。 ○考えた発信方法・内容が適切かどうか再考する。発表内容を見直す。 ○学年で、お互いのまとめたものについて紹介し合う。 ○発信内容を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰に何を伝えたいのか、私たちはどうしたいのかという視点をもとに互いの情報を交換し合い、次回の活動に生かせるようにする。 	

材(屋上庭園)のもつ価値

- ・茶室や遊具の材料となる木材や竹材は、生活の中でそのぬくもりやよさを感じられる身近な材であり、図画工作や家庭生活の中で加工した経験があり、自由な発想を引き出しやすい。
- ・5年時に動くガンダムを見学し、プラモデルの組み立て経験が全員にあることから、ベンチや茶屋など建築物の構造や仕組みを考えながら制作に挑むことができる。
- ・社会に自ら関わることで、自分たちの地域の魅力に気付くことができる。また、その一員である自覚をもつことができる。
- ・家庭科の学習や昨年度の米の探究活動で、お茶のよさに気付いている児童が多く、外で楽しむことを通して新たなよさに気付くことができる。
- ・狭いながらも植物がたくさんあり、富士山が一望できる絶景スポットでもあるので、自然を楽しむことができる。

材(屋上庭園)に寄せる子どもたちの思いや願い

- ☆慣れ親しんだ学校に楽しい場所を作ることで、学校を手軽に遊べるよりよい場になりたいと願っている。
- ☆自分たちのイメージしたものが少しずつ形になっていくことの面白さや喜びを感じている。
- ☆自分たちが作ったものを学校や地域のみんなにも楽しんでほしいと願っている。
- ☆遊び場を自らが作るという未知の活動を楽しみながら作りたい。
- ☆自分たちの地域のよさを再発見し、他の人にも気付いてほしいと願っている。
- ☆一つの目標に向かうことの成功体験が充実した学校生活につながると考えている。

★本音で話し合いながら取り組むことで、日々活動をレベルアップさせたいと願っている。

★…子どもたちの深層にある求め(子どもたちが一番やりたいこと・願い)